

## ■本プログラムにおける留意事項

○行程は基本的に弊社側が手配した車で移動します。  
(一部公共交通機関による移動の可能性があります)。

○現地自由行動時/現地家庭でのショートステイ時以外の全てのプログラムに弊社日本人スタッフが1名同行します(現地自由行動時/現地家庭でのショートステイ時のアテンドはいたしません)。

○本プログラムの報告書作成を弊社に希望される場合は別途費用がかかります。

○弊社側にて社内記録用に撮影した写真・ビデオに関しましては、ご希望ございましたら無償にてご利用頂けます。またご参加者は視察中及びディスカッション中、ご自由に撮影して頂く事ができますが、撮影を禁止されている場所での撮影はご遠慮ください。また、別途カメラマンによる写真&ビデオ撮影をご希望される場合は、御相談下さい。

○現地ワークショップや、日本帰国後の情報共有&整理時に作成するアウトプットの所有権および著作権は、本プログラムの全参加企業および弊社が共有するものとします。ただし、当該アウトプットの作成に使用する個々の画像に関しては、著作権またはその使用許諾を権利所有者より取得することはいたしませんので当該アウトプットのご利用に際してはご留意ください。

○本プログラムの成果物は、ご参加者様ご本人が本プログラムの中で作成されるアウトプットとなります。

○ご参加者様によるご参加企業様向けプレゼンテーション報告会には、次回参加検討企業担当者様も同席させて頂く可能性がありますので、その旨ご了承ください(次回参加検討企業担当者様には本プログラムの成果物資料配布はいたしません)。

○事前準備におけるデザイン思考レクチャー資料、現地若者最新動向情報のプレゼンテーション資料に関しては、著作権の問題上お渡しする事ができません。

○インド&ベトナムにおける自由行動に関しては、自己責任を前提としております。緊急事態が発生した場合は、ご参加者様とは別に現地からトリニティ株式会社(03-5211-5150)を通して、お申し込み時に頂く予定の「渡航期間中の日本側連絡先」へ状況をご報告させて頂きます。

## ■注意事項

以下は、弊社主催の新興国デザイン思考マラソンプログラムに安全にご参加頂くうえでのご注意点となります。ここでは、トラブル防止に役立つ最低限の諸事項について説明しております。お申し込み頂くに際して必ずご一読いただきますようお願い致します。

○食べ物・飲料水について

インド・ベトナム料理は慣れていないと胃腸への負担が大きく下痢をしやすくなります。また、寿司や刺身などの生ものは、一流ホテルやレストランであっても、避けてください。フルーツやサラダも同様です。果物は自分で皮をむいて早めに食べるように心がけ、野菜も加熱調理されたものを食べるようにしてください。水道水を飲むと下痢をすることがあります。煮沸した水、もしくはミネラルウォーターを飲むようにしてください。また、氷入りの飲み物も避けるようにしてください。無料のミネラルウォーターがホテルの部屋に置いてあることも多いです。ホテル内の食事は基本的に問題ありませんが、衛生的管理の悪い屋台などでの食事は控えてください。消化を助ける為に、ビオフェルミンなどの整腸剤などを持参することもお勧めします。

○衛生状況について

野良犬や、カラス、鼠等多くの動物が道を徘徊しています。狂犬病等の感染症にかかっている事も充分考えられますので注意が必要です。むやみになでたり、なめられたりされないよう十分ご注意ください。季節によっては、デング熱などの蚊が媒介する感染症にも注意が必要です。虫除けを適宜ご持参ください。

○交通事情について

トリニティでは細心の注意を払い、ドライバーや車両の手配を行っておりますが、現地の交通事情により、予期せぬ事故に遭遇する場合があります。現地で事故に遭い、怪我を負い、高額な医療費の支払いに苦労される方は少なくありませんので、万が一に備え、海外旅行保険に加入することをお勧めします。

○貴重品・パスポートの紛失・盗難等について

ご旅行中の貴重品を含む荷物及び携帯品については、全てご自身で管理及び注意していただくようお願い致します。運輸機関、ホテル内、ショートステイ先等において何か紛失した場合は、全てお客様ご自身の責任となりますので、厳重に管理するよう注意してください。街中での物乞い、スリにご注意ください。子供であっても、はっきり断り、お金や、物を与えたりしないようにしてください。

○現地家庭でのショートステイについて

現地家庭への1泊ショートステイがプログラムに組み込まれています。それに辺り以下に十分ご留意ください。

・滞在家庭は滞在メンバーの安全を十分考慮し、最低限日常生活に支障がない程度の英語が話せる人間がおり、且つ食事等に関しても現地の事情、環境が許す範囲で衛生面に配慮する事を可能な限り満たすよう選定しておりますが、滞在時は滞在メンバー各自の自己責任となります。

・今回のショートステイは現地の家庭の生の状況を肌で感じて頂く事が目的の為、滞在家庭には出来る限り「あるがまま」の状態で滞在メンバーを受け入れてもらいます。よって通常の留学等のようにホストファミリーからのお客扱いのような振る舞いやホテルのように快適さが保障された環境では必ずしもありません。各家庭のルールや環境に滞在メンバー側が可能な限り合わせる行動を心がけてください。

・1家庭に1~2名のメンバーで滞在して頂く想定です。

・参加者が各家庭に滞在している間、運営側メンバーは何か問題が起こればすぐに対応できる体制を整えております。ただ新興国では渋滞等もありすぐに駆けつけられない場合もありますので、滞在メンバー自ら自己管理を徹底して下さい。

・滞在は夕方~翌日夕方までを想定しています。

・滞在中は通訳も同行いたしませんので、滞在メンバー自身が家族と直接コミュニケーションをとって頂きます。

・滞在家庭の情報は事前に参加企業担当者様に共有いたします。

○その他

他のご参加者様にご迷惑をおかけしないため、時間は厳守して頂くようお願いいたします。プログラムご参加中の自由行動時は、弊社側での責任は負いかねますので十分にご注意ください。

また最近では世界各国でテロ等の事件が多発しています。安全には十分に考慮し進めますが、万が一、上記状況に遭遇した場合は基本的にツアーを中止し可能な限り早急に帰国する手続きをとりまします。

その場合、参加費に関してはご相談の上、プログラム履行部分までのご精算を基本とさせていただきます。また天変地異(台風、地震等)等の状況含めて不測の事態で現地滞りが延長される場合は、基本的には参加企業様側にて延泊料金や帰国便のチケット経費等を御負担頂きます。その他危機管理方法の詳細に関しては別途書面にて参加者に共有いたします。

トリニティでは、渡航中の病気、事故、事件に関する責任は一切保障しかねます。よって、安心してご旅行いただく為にも海外旅行保険(※緊急移送サービスを含む)への加入をお勧め致します。

お問合せ:Trinity 新興国“デザイン思考”マラソン  
プログラム担当  
岡村:yoshihiro@trinitydesign.jp  
TEL : 03-5211-5150 FAX : 03-5211-1520

## 若手人材の実践的な教育トレーニングプログラム

# 新興国“デザイン思考”マラソン (インド&ベトナム編)

本プログラムは、インド(ニューデリー)とベトナム(ホーチミン)の2か国に短期滞在し、現地生活者とのワークショップ・フィールドワーク・短期ホームステイ等を実施。デザイン思考的観点からインドとベトナムそれぞれに特有・共通するUX潮流&インサイト&価値観を探求し、そこから商品・サービスアイデアを創り上げていく、約5ヶ月間のマルチクライアント型トレーニングプログラムです。



企画・実施元 トリニティ株式会社 HP: <http://trinitydesign.jp>

# Design Thinking Marathon

TRINITY

## 本プログラムの概要

デザインリサーチ & コンサルティングを行うトリニティ株式会社は、デザイン思考を真に活用できる“Real Design Thinker”への第一歩を踏み出す為の若手人材教育トレーニングプログラム「新興国“デザイン思考”マラソン（インド&ベトナム編）」を2018年5月～10月の期間で開催いたします。

本プログラムは、インド（ニューデリー）とベトナム（ホーチミン）の2か国に短期滞在し、現地生活者とのワークショップ・フィールドワーク・短期ホームステイ等を実施。デザイン思考的観点からインドとベトナムそれぞれに特有・共通するUX潮流&インサイト&価値観を探索し、そこから商品・サービスアイデアを創り上げていく、約5ヶ月間のマルチクライアント型トレーニングプログラムです。デザイン思考はそのプロセスを頭で理解しただけでは機能しません。また如何に多様な視点を持てるか〜がその成果に直結します。

本プログラムにて様々な業界・専門性・価値観を持つ日本 & 海外の仲間たちと共に、ディープなフィールドにおける生の体験を通じて、デザイン思考的スタンスやマインド含めて体得し、デザイン思考を真に活用できる“Real Design Thinker”への第一歩を踏み出してみませんか？

## 期待される効果

- ▶ デザイン思考を理解するだけでなく、実際のフィールドで「活用できる」チカラ（マインド）を養います。
- ▶ 対象国毎に特有・共通するインターフェース、サービスを通じ、現地の人々が得ている感覚や体験の特性を理解することで、マーケットの可能性を見出すことができます。
- ▶ 新興国2ヶ国&日本との比較検討により、今後の新興国動向を把握する為の仮説視点（比較軸）を獲得できます。
- ▶ グローバルに通用する「実践的なチカラ」と「現地人材とのネットワーク」を獲得できます。
- ▶ 多業界・多分野の参加メンバーとの協業形式により、メンバー間で新たな視点や思考プロセスを共有できます。

トレーニングプログラム期間：2018年5月～10月

2018年5月～7月

# STEP 1

## 事前準備

- デザイン思考の基本レクチャー
- 現地での情報収集 & インサイト獲得プロセス・方法の策定

2018年7月/8月（1週間）

# STEP 2

## インド・ベトナム訪問

- インド（ニューデリー）、ベトナム（ホーチミン）の現地視察
- 現地メンバーと意見交換
- 家庭ショートステイ
- フィールドワーク etc.

2018年8月～9月

# STEP 3

## 情報整理 & アイディエーション

- 獲得したインサイト整理
- アイディエーション

2018年10月

# STEP 4

## プレゼンテーション

- 参加企業関係者様へのSTEP1～STEP3の成果発表
- 他社の上司の方々との意見交換 & 深堀り

**POINT: 主体性を重視する為、“参加メンバー主導型”で進行します!**



### ■ 参加対象

20代～30代の若手人材  
(デザイナー/企画/マーケティング/技術開発担当者/研究者の方を推奨)  
※ 上記に該当されない方のご参加も検討可能です。

### ■ 募集人員

10名 (お申込み多数の場合は抽選となります。)

### ■ 申込締切

2018年4月末

### ■ 参加費

1名100万円(消費税抜き)  
※ ご参加者の航空券/宿泊費/インドベトナムでのプログラム内容以外の滞在費は含まれません。  
※ 全てのプログラムに弊社スタッフが最低1名同行します。  
※ STEP4のプレゼンには、次回参加検討企業担当者も同席させて頂く可能性があります。